

令和 7 年度 北九州市立洞北中学校 学校経営方針

校長 上土井 靖人

【学校教育目標】

自分のよさや可能性を伸ばし、自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成

<校 訓>

自主 協同 友愛

めざす学校像

- 明るく活気のある笑顔あふれる楽しい学校
- 安全・安心で学習環境の整った学校
- 生徒一人一人の学力・体力・コミュニケーション力が向上する学校
- 学ぶ楽しさを実感できる学校
- 社会の変化に対応できる力の基礎を培う学校
- 地域や保護者に信頼され期待される学校

めざす生徒像

- 思いやりの気持ちを持ち、自ら考えて行動することができる生徒
- 自らを見つめ、自己実現を目指して主体的に学ぶ生徒
- 良好な人間関係を築き、自らの力を生かして社会に貢献することができる生徒

めざす教師像

- 生徒への愛情と教育公務員としての使命感を持ち、資質向上に努める教師
- 同僚・生徒・保護者・地域と好ましい人間関係を築き、率先して生徒に範を示す教師
- キャリアステージに応じた働き方を考え、ワークライフバランスを実現する教師

洞北中学校「3つの合い言葉」

「時を守り」 → 時刻・時間、期限を守る → 「人を尊重すること」

「場を整え」 → 公共の意識を醸成する → 「人のために尽くすこと」

「礼を正す」 → コミュニケーション力を高める → 「人と良好な関係をつくる」

本年度の重点目標

(1) 生徒の安心・安全の確保

- ① 自らの命を自分で守ることができる生徒の育成
- ② 安全・安心な学校環境整備、居場所づくり
- ③ いじめ、虐待、ヤングケアラーの早期発見、即時対応、組織的な見守り、関係機関との連携強化

(2) 主体的に学び、解決するための確かな学力の育成

- ① 新学習指導要領の学力観に基づく、生徒の学びを深めるための授業改善
- ② PDCA サイクルに基づいた指導と評価の一体化
- ③ ICT 活用の推進・教育の DX 化
- ④ 家庭学習習慣の確立、補充学習の充実
- ⑤ 生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実、合理的配慮
- ⑥ SDGs の視点に基づくカリキュラムマネジメントの推進
- ⑦ 英語教育リーディングスクールとしての英語教育の推進

(3) 人権尊重の精神を重んじ、他を思いやる心豊かな生徒の育成

- ① 生徒一人一人が活躍する生徒会活動の充実
- ② 温かで支え合う学級集団、学年集団づくり
- ③ 多様性を理解し、子どもの人権に配慮した校則の検討
- ④ 生徒一人一人の進路保障

(4) 積極的な生徒指導

- ① 支持的風土のあたたかて他己を高め合う学級・学年集団づくり
- ② 報告・連絡・相談・記録の徹底
- ③ 職員間、関係機関との連携強化

(5) 信頼される教師集団

- ① 教師の人権意識の向上
- ② 率先して範を示す職員集団
- ③ 働き方改革、不祥事防止研修の徹底
- ④ 業務改善に向けたアイデアの積極的提案、実行
- ⑤ キャリアステージに応じた人材育成、Plant の積極的活用

(6) 開かれた学校づくり

- ① 学校評価の積極的活用
- ② 各種通信、学校ホームページ、「tetoru」等を活用した積極的な情報発信
- ③ 洞北中校区の小中連携（学び、生徒指導、人権教育等）
- ④ 「洞北中サポーター」である保護者会（くきた会）や地域との連携